



サステナビリティと国際関係 ー 持続可能な開発の実現に向けてー

Sustainability and International Relations: Toward the Achievement of Sustainable Development Goals

東京大学から政策発信を行う目的から設立された政策ビジョン研究センターは、来年2018年に10周年を迎えます。これを機会として、このたび東京大学未来社会協創構想の一環として発足した当センターのSDGs協創研究部門の主導により、センター設立十周年を記念する国際会議を開催いたします。会議のテーマは、国連で2015年に合意された「持続可能な開発のための2030年アジェンダ」(SDGs)を実現するために、サステナビリティ研究と国際紛争研究という二つの視点から課題を明らかにすることです。地球環境の温暖化の進展が環境の破壊ばかりでなく発展途上国を主とした紛争の引金ともなってきました。この現代世界の直面する深刻な危機に対して学術研究はどのように答えることができるのか。内外の専門家を集めてこの課題に取り組むことが本会議の目的です。

◆ Program

16:00-16:05 開会の辞 Welcoming Remarks
藤原帰一 政策ビジョン研究センター長
Kiichi Fujiwara, Director, Policy Alternatives Research Institute

16:05-16:15 基調報告 Opening Speech
五神真 東京大学総長
Makoto Gonokami, President, The University of Tokyo

16:15-16:35 問題提起 Keynote Speech
デヴィッド・マローン 国際連合大学学長
David M. Malone, Rector, United Nations University

16:40-17:40 パネル・ディスカッション Panel Discussion
・パネリスト Panelists
ジョン・アイケンベリー プリンストン大学教授
G. John Ikenberry, Professor, Princeton University

国谷裕子 ジャーナリスト
Hiroko Kuniya, Journalist

沖大幹 国際連合大学上級副学長
Taikan Oki, Senior Vice-Rector, United Nations University

・モデレーター Moderator
藤原帰一 政策ビジョン研究センター長
Kiichi Fujiwara, Director, Policy Alternatives Research Institute

17:40-18:00 質疑応答 Q&A



Date 2月14日 [February, 14, 2018] 16:00 - 18:00 [Doors open at 15:30]
Venue 東京大学伊藤国際学術研究センターB2F 伊藤謝恩ホール
Ito Hall, Ito International Research Center B2F
7-3-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033 Japan
<http://www.u-tokyo.ac.jp/ext01/iirc/access.html>
Language 日英同時通訳付
English/Japanese simultaneous interpretation
Organized by 東京大学政策ビジョン研究センター
Policy Alternatives Research Institute